

メール: g03063@shugiin.go.jp

自立と共生!

たくましい日本!

No. 172号

民主党 中川正春の **永田町かわら版**

2002年9月25日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 428号

TEL 03-3508-7128

FAX 03-3508-3428

○鳩山由紀夫に党全体が責任をもつ

菅さんとの決選投票のすえ、鳩山さんが勝ちました。ご協力をいただいた皆さん、有難うございました。

しかし、その差は僅差。国会議員では、菅さんが92人、鳩山さんが91人で、一人分の負けですが、サポーターで広く支持があった分、242対254ポイントで、鳩山さんが勝った勘定になりました。

野田さんも、とてもいい挑戦をしたと思います。当選回数若いの世代からの突き上げは、これからの鳩山さんにとって、貴重な反省材料になりました。党内バランスで、政策をウヤムヤにしてはならない。日本の危機に対して、民主党が一丸となって挑戦する姿が前面に出てこなければ、この国の未来は開けてこない。このことを、私達全員が肝に銘じていかなければと、思っています。

鳩山さんを選んだことに責任をもっていきます。

○北朝鮮の金正日はしたたかな独裁者

北朝鮮の問題は、ここ一年が勝負です。

年間、500万トン必要だと言われる北朝鮮の食料は、去年の国内生産300万トン。アメリカや韓国、国際機関などの支援で100万トンの供給はあるものの、その他は、いまだ見通しが立っていません。共産主義体制の崩壊でロシアから供給されていたエネルギーが途絶えて、各地で停電が頻発。日本の朝鮮総連、朝鮮銀行が破綻する事によって年間5000億円と言われた送金ルートも絶たれています。マツタケならまだしも、麻薬や武器輸出など日本のヤクザ組織との密輸で外貨を稼ぐ実態が、不審船の捜索から明るみに出てきています。加えて、アメリカのブッシュ政権にテロ組織支援で、「悪の枢軸国」と呼ばれ、韓国の金大中大統領の「太陽政策」で勝ち得た経済支援が

この八方塞を脱却することが、ここ一二年の金正日の外交戦略だと言えます。韓国との対話に続いて、EUの代表団の受け入れ。ロシアへの鉄道旅行とそれに続くプーチンとの会談。残るは、アメリカと日本であったわけです。

「ここに、日本の総理大臣、小泉純一郎を乗せよう。小泉ならアメリカとの仲介もしてくれるだろう。」と、なったわけです。

小泉総理の訪朝前には、日朝の最大の懸案、拉致問題について朝鮮問題専門家や週刊誌、新聞などを通じて、楽観的な話がでました。「横田恵さん他何人かは直ちに帰国。拉致問題全面解決」などと、朝鮮問題専門家は得意になって言い、新聞や週刊誌が書き立てました。結果は、報道された通りです。これは、北朝鮮の情報操作だったので

私は、外務省がこのような背景をしっかりとおさえていれば、大変なリスクを背負って直接の首脳会談にのぞんだ小泉さんのその場の判断に違った結果が出たと思います。拉致された一人一人のいきさつがハッキリして、補償問題など解決するまで国交正常化交渉に入らない。韓国などの抱える拉致問題や離散家族、中国への経済難民やその原因である国民への抑圧と人権蹂躪に対しての具体的な政策転換をせまる。一旦、椅子を蹴って交渉を中断させる事も出来た。少なくとも、「拉致」という言葉が一言も入ってない共同宣言の文言は、その場で変更させるべきだった。

昨日のアメリカの新聞論調も厳しくなっています。「核疑惑、ミサイルや大量破壊兵器など安全保障について具体的な詰めのないままに、1兆円とも言われる経済援助の約束は、金正日に小泉がしてやられたと言う事だ。」

これからの交渉で、金正日の軍事体制を認めてはいけません。私は、北朝鮮の国民を、抑圧と人権蹂躪で苦しめ、300万人にも上る餓死者と経済難民を出し続けている金正日の独裁軍事政権

ここでひっくり返される懸念がありました。

北朝鮮の異常な独裁体制、金正日は、崩壊の瀬戸際にあります。北の国境地帯から中国東北部に流れる、30万人から40万人と言われる脱北者、北朝鮮経済難民の波が、それを物語っています。

を、国際社会が許してはならないと思っています。これに代わる新しい指導者と政権が、この国に生まれる。そのことを促すような国際戦略を基本に、はらを据えて北朝鮮との交渉を始めることで
中川正春(ロンドンにて)